

# 東



「文荷」

# 東西狂言の会

関東の野村家、関西の茂山家の共演で、  
その至芸を、お楽しみいただく東西狂言の会。  
立夏の風が清々しき頃、狂言の醍醐味を、ご堪能ください。



「無布施経」

無布施経

僧 野村 萬斎

施主 深田 博治

解説 高野 和憲

— 休憩 —

磁石

すっぱ 茂山あきら

田舎者 宿の亭主 茂山 童司  
丸石 やすし

文荷

太郎冠者 野村 万作

次郎冠者 主 岡 聡史  
高野 和憲

# 西

平成30年 5月3日 [木・祝]

午後2時30分開演

三鷹市公会堂 光のホール

【料金・全席指定】

財団法人の会会員3,600円／一般4,000円／高校生以下2,000円(当日学生証拝見)

※未就学のお子様のご入場はできませんので、託児サービスをご利用ください。詳細は裏面をご参照ください。

【チケット発売日】

財団法人の会会員 1月28日 [日]／一般 1月31日 [水]

※発売初日は、午前10時から電話予約及びインターネット予約のみで発売を開始し、窓口販売はございません。

【チケット販売】

電話予約 三鷹市芸術文化センター 0422-47-5122

WEB予約 <http://mitaka-art.jp/ticket> ※事前登録(無料)が必要となります。(携帯電話のみ自動採番)

【主催・お問い合わせ】(公財)三鷹市スポーツと文化財団 0422-47-5122



「磁石」(写真右は、茂山千作師です)

# 【無布施経】

ふせないきょう

毎月きまつてある檀家へ祈禱にやってくる僧。無事に勤めをすませ施主に別れを告げるが、今日に限っていつももうはすのお布施が出てこない。毎月こうなつては大変と、僧は再三戻つては、雑談や説法にこと寄せてそれとなく催促するのだが、施主は一向に気づく様子がない。僧は最後に苦肉の策を思いつき……。

人間なら誰でも持つ心のゆれが、シテの独演によってユーモラスに、一抹の哀愁をもって描かれるところに、現代性が感じられます。施主とのやり取りに思わず微笑が浮かぶ佳作です。

# 【磁石】

じしゃく

遠江の国の田舎者が上京する途中、近江の国の大津松本の市を見物していると、すっぱ(いたずら者)が言葉巧みに近づいてきて、田舎者を定宿に連れ込む。実はこの宿の主人は人買いで、すっぱから田舎者を買う約束をする。この話を盗み聞きした田舎者は、先回りして金を受け取り逃げ去る。あわてて追いかけたすっぱが太刀を抜いて振り上げると、田舎者は機転を利かせて、自分は磁石の精だと名乗り、大口を開けて太刀を飲み込もうとする。驚いたすっぱは……。

中世の時代のバイタリティを感じさせる、いかにも狂言らしい荒唐無稽なお話です。

# 【文荷】

ふみにない

太郎冠者と次郎冠者は、主人から恋文を届けるよう命じられる。文を持ちたくない二人は、道々文を押し付け合うが、やむなく竹竿に結んで二人で担ぐことにする。なぜか文が重く感じられるので、能「恋重荷」の一節を思い出し、詠いながら運んでいく。手紙の中身が気になって仕方がない二人は、とうとう文を開いて読んでしまうのだが……。

能「恋重荷」のパロディになっている作品です。登場人物のやり取りの面白さに加え、謡曲を取り込んだ興味あふれる内容になっています。



## 野村万作

一九三一年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。祖父故初世野村萬斎及び父故六世万蔵に師事。「万作の会」主宰。軽妙洒脱で緻密な表現の中に深い情感を湛える品格のある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。芸術祭大賞、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞など多くの受賞歴を持つ。



## 野村萬斎

一九六六年生。野村万作の長男。祖父故六世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定者。「狂言ござる乃座」主宰。国内外での狂言・能公演に参加する一方、現代劇や映画、テレビに主演するなど幅広く活躍。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞等受賞。世田谷パブリックシアター芸術監督。



## 茂山あきら

一九五二年生。故茂山千之丞の長男。祖父故三世茂山千作および父に師事。三歳で初舞台。七六年、花形狂言会を発足。従兄弟の千五郎、七五三と主宰する。古典狂言のみならず、新作狂言や千年振りの復曲「袈裟求」など演じ、狂言の大衆化に力を注ぐ。現在は千五郎・七五三と共に、桂米朝一門を巻込み、「お米とお豆腐」を立ち上げ、新たな試みに挑戦中。

◎狂言舞台の配置と客席図、および、客席からの舞台の見え方(写真)を、財団ウェブサイト(<http://mitaka-sportsandculture.or.jp/>)の「東西狂言の会」のページに掲載しております。

ご予約後、チケット代金の郵便振込が出来ます。

口座番号:〈ゆうちょ銀行〉00190-5-569156  
加入者名:三鷹市芸術文化センター

●チケットの郵送方法のご希望が、普通郵便の場合は82円を、簡易書留郵便の場合は392円をあわせてお振り込みください。●郵便局の「払込取扱票」にご記入ください。●払込手数料はお客様のご負担になります。●お振り込み後チケットがお手元に届くまでに10日ほどかかります。

### 託児サービス

★本公演には託児サービスがございません。  
場所/三鷹市公会堂さんさん館 K-4・5  
対象/1歳~未就学児(集団保育になります)  
料金/500円(おやつ代等・公演当日払い)  
定員/10名(要予約)  
受付締切/2018年4月19日(木)  
お申込先/三鷹市芸術文化センター  
0422-47-5122

### Twitter公式アカウント

@ArtsMitaka

主に財団の主催公演や施設案内に関するお知らせをつぶやきます。ぜひ、フォローを、お願いいたします!

※個別のリプライは致しませんので、ご了承ください。

### 三鷹市スポーツと文化財団 友の会「マークII」会員募集中!!

- 年会費/2000円
- チケットの優先予約・割引
- ポイント還元(ご利用額の5%)
- 情報誌の送付
- チケットの無料送付(口座会員のみ)
- 三鷹市芸術文化センター地下1階 レストラン・カムラッド、三鷹市公会堂さんさん館2階ドーンでの食事割引



### 三鷹市公会堂 光のホール

- 三鷹駅南口の番バス停より乗車「三鷹市役所前」下車。道路反対側。
- 吉祥寺駅南口③番バス停より「武蔵境駅南口」行き、または、④番バス停より「調布駅北口」行き、乗車「三鷹市役所前」下車。
- 調布駅北口④番バス停より「吉祥寺駅」行き乗車(野ヶ谷行以外)「三鷹市役所前」下車。道路反対側。

\*公演の内容等は、やむを得ず変更となる場合がございます。\*公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換はできませんので、何卒ご了承ください。\*未就学のお子様のお入場はできません。\*お車でのご来館はご遠慮願います。